

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 福岡県大牟田市立米生中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

所在地 〒836-0881  
福岡県大牟田市米生町2丁目26番地

E-mail yoneo.js@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 77名 女子 84名 合計 161名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉・キャリア教育 ）

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

『地域と共に生きる学習 ～福祉・世界遺産学習を軸に～』をテーマに、ESDの視点から「志を持ち、自ら考え行動できる生徒」の育成に取り組んだ。

#### 【全校生徒】

##### ○ESD/総合的な学習の時間についてのオリエンテーション(4月)

- ・ESD、ユネスコスクールについて・・・パワーポイント、パンフレットを使って説明した。
- ・前年度の学習活動の発表・・・新2年生が世界遺産学習の成果を発表。新3年生は、修学旅行(京都)の取組を発表。

##### ○防災学習：4月避難訓練(火災)、8月避難訓練(地震)

##### ○地域交流：地域学校応援ボランティア(ABCボランティア)の活用

- 絵本読み聞かせ、折り紙教室、料理教室
- 地域貢献活動・・・協働除草作業
- 地域行事への参加

##### ○食育講座：GT(調理師)による講演

##### ○ユネスコ世界寺子屋運動参加(書きそんじハガキ回収)

##### ○世界一大きな授業参加(5月 識字教育について)

##### ○認知症見守り声かけ模擬訓練参加(9月市内一斉訓練)



[認知症見守り声かけ模擬訓練]

#### 【生徒会活動】

##### ○ユニクロ「服のチカラプロジェクト」に参加

活動期間 7月～11月

ポスターやチラシを作成し、近隣の小学校3校にも取組みの説明と協力をお願いし、地域にも呼びかけた。子ども服「1743枚」(段ボール12個)を回収し、発展途上国に送ることができた。回収作業では、生徒会役員だけでなく、3年生を中心としたボランティアの生徒が数多く協力し回収、仕分け、箱詰めをした。

##### ○熊本地震の募金活動

熊本地震の被災地である宇城市へ励ましのメッセージと集まった募金と一緒に大牟田市の教育委員会を通じて送った。



「服のチカラプロジェクトポスター」

#### 【1年】

##### ○大牟田特別支援学校との交流(年4回)

目標：レクリエーションなどの交流活動を通して、関わりを深め互いを尊重する心・思いやりの心を育てる。

##### わくわく交流(10月)

グループに分かれ、司会進行、劇やゲームなどを自分たちで企画運営し、特別支援学校の生徒たちと楽しく交流した。

##### クリスマス交流(12月)

サンタやトナカイの衣装で、クリスマスツリーを飾り一緒に歌ったりゲームをしたり、お互いに手作りのプレゼントを交換して楽しんだ。



[クリスマス交流]

## ○認知症学習

目標：「認知症の方やその家族、誰もが安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいる校区内の地域の方々と連携し、認知症について理解を深め自分たちにできることを考え取り組んだ。

展開：地域の取り組みがTV番組で取り上げられたDVDを視聴し、地域学習を行い、自分たちが地域の人々にできることを考えた。

## 【2年】

世界遺産学習「私達の『大牟田の宝』を世界へ！」をテーマに、世界遺産「宮原坑」の発信プロジェクトや大牟田のまちの活性プロジェクトに取り組んだ。

目標：世界遺産「宮原坑」「炭鉱専用鉄道敷跡」の価値を学習し、地域との関わり、つながりを深めることによって、人々の思いや願い、地域の良さに気づき、それらを守り未来につなぐために、自分や地域の将来を考え行動できる。

展開：炭鉱に関わった人々や地域の人々にインタビューし、思いや願いをつないでいくために自分達にできることを考え行動した。

○リーフレットを作成：世界遺産「宮原坑」を多くの人々に知ってほしいと、2種類のリーフレットを作成し、世界遺産「宮原坑」・市内各所・修学旅行先の京都で配布した。



[手作りのリーフレット]

○世界遺産の町「京都」への修学旅行をとおして、世界遺産の町の取り組みを学ぶ。

事前に京都の世界遺産について調べ学習を行い、京都では、世界遺産の町としてどのような取り組みを行っているのかを調査・インタビューをおこなった。また、世界遺産「宮原坑」の認知度を調査したり、リーフレットを配布して、是非大牟田に来ていただけるよう広報活動を行った。



[北野天満宮の宮司さんにインタビュー]

○「花いっぱい、笑顔いっぱい」プロジェクト：地域の方々と一緒に「宮原坑」や校内の花壇に花を植えた。今後は夏に向けてひまわりの種を植える。平成27年度から交流している気仙沼市立松岩中学校へも、このプロジェクトに参加していただけるようにひまわりの種を送った。

○ユネスコスクール子どもサミットでの発表

1月14日「ユネスコスクール制定の日 記念子どもサミット」で世界遺産学習の取り組みを地域へ発信した。



[子どもサミットで発表]



[プロジェクトを呼びかけるポスター]

### 【3年】

目標：地域の高齢者や幼児とのふれあい体験をとおして、自他の生命尊重・優しさや思いやりの心を育てる。

#### ○独り暮らし高齢者宅訪問

地域の民生委員、公民館の方々と協力して、校区内の独り暮らしの高齢者宅を訪問し、手作りのプレゼントとメッセージカードを渡した。訪問時には、肩もみをしたり、昔話を聞かせていただいたり交流を深めた。



〔高齢者のお宅を訪問〕

#### ○幼児とのふれあい体験

地域の幼稚園、保育園に手作りのプレゼントをもって訪問した。幼児に優しさや思いやりをもって関わりを持つ活動を行った。



〔幼稚園でのふれあいの様子〕

### 【その他】

#### ○イングリッシュセミナー：1年・2年の希望者

目標：世界遺産「宮原坑」に来られる海外の方々に英語でガイドができるようにする。

- ・「大牟田の宝50」の英語版を作成。
- ・世界遺産「宮原坑」のリーフレットの英語版を作成。
- ・英語で世界遺産「宮原坑」をガイドしよう！



〔「大牟田の宝50」の英語版〕

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）